

▲ 株式会社アイ・ティ・イノベーション

「お客様と共に感動し、喜ぶ」を理念に500以上の案件実績
——DX推進を大手企業中心に、ゴールまで寄り添うコンサル支援

ここに
注目!

ビジネス改革成功への必須要件「最適な IT 構築」支援を目指す
プロジェクト達成に必要なノウハウと、人材育成をサポート

株式会社アイ・ティ・イノベーション（以下ITI）は、DX（デジタルトランスフォーメーション）の戦略や実現にかかわるあらゆる業務支援と、人材育成支援を行うコンサルティング会社だ。日本の大手企業を中心に、DX戦略／推進支援から、IT構想企画の立案、ITアーキテクチャ（エンジニアの発想）デザイン構築、プロジェクトマネジメント支援、それに必要な研修／人材育成支援まで、500以上のIT変革やプロジェクトの支援を手掛け、大きな成果を上げてきた。経済産業省の最新「DXレポート」によると、企業のDXへの危機感は薄く、実施がまだまだ進んでいない。DXが進まないと、業務効率・競争力の低下によって多額の経済損失が発生すると試算されており、ITIの存在意義が高まっている。

DX推進に必要な方法論を体系化。「競争相手は存在しない」

ITIの創業者である林衛代表取

締役社長は大学卒業後、国内のIT関連企業を経て渡英し、モデルベース開発方法論と統合開発ツールを学んだ。1998年、ITの革新を目指し、ITIを設立した。概念、方法、手順、ツールを組み合わせるメソッドロジーを基に、IT組織とプロジェクトを成功に導く方法論「Modusシリーズ」をまとめた。Modusシリーズは、ITIが長年の実務経験で蓄積したノウハウを実用的に体系立てたもので、IT構想企画、MDM（Master Data Management）設計構築、プロジェクトマネジメント（PM）など10に及ぶ。

ビジネス改革において「最適なIT構築」は本来避けられないものだが、実践は難しく、ソフトウェアやツールの活用が主体になりがちだ。超上流工程といわれるコンサルでは、企業の戦略に基づいたIT構想企画段階で、自社ならではの強みと、他社が追従できない独自性を前提に到達目標を設定し、システム設計構築を支援する。具体的には、ベテランコンサルの知

見・経験による現状ITの可視化、ビジネス特性・課題の分析、あるべき全体像、投資対効果、ロードマップ策定を行い、DX成功への道筋をつける。

ITを構築したら、データ活用が必須となる。ITIではビッグデータ分析、AI（人工知能）導入設計、インドなどの海外リソースも活用したモデル（アルゴリズム）開発など、最先端技術支援も得意としている。

林社長は「競争相手（競合他社）は存在しない」と言い切る。「有名な外資系や大手コンサル会社とは違って、当社に頼むのは勇気があることなのだろう」（同）と話す口調は、「当社に依頼すればいいのに」という自負の裏返しと受け取れる。

経験の蓄積が業界に浸透、持続的な視点でビジネスをみる

さらにITIが得意とする分野は、PM、プロジェクトマネジメントオフィス（PMO）支援だ。



アイ・ティ・イノベーションの行動指針



DX推進を成功させる5つの柱



20年間、毎年開催しているITIフォーラム



ITIフォーラム受付の社員たち



社員旅行にて集合写真

顧客とオープンコミュニケーションで信頼関係を築き、方法論をベースにプロジェクトの推進方法を標準化していくには、熟練コンサルタントの知見と立ち位置がモノをいう。

これらの事業すべてにかかわるのが、研修/人材育成だ。ITを使いこなすのは、あくまで「人」。Modus ACADEMYと銘打つ研修の教材を、実務に基づいてオリジナル開発した。ワークショップ中心の講義の多くは現役ITコンサルタントが担う。

このような事業経験の蓄積に加え、①ソリューションを的確に組み合わせ合わせたトータルサポート②中

立的かつ全体を俯瞰した視点で、お客様と共に悩み、発想し、「正解」への道を進む③当事者意識でプロジェクトの数多くあるタスクに取り組み、高い壁でも乗り越える行動カーの3つがITIの強みとなっている。顧客はITIについて、「カーナビのように、ゴールまで道案内を行う集団」という。運転はあくまで顧客だ。林社長が、世界最大のITアーキテクトの専門団体であるIasa日本支部のファウンダー兼アドバイザーボードであることも信用を補完している。

2021年7月には日商エレクトロニクス株式会社と資本業務提携を行い、8月にはシステム開発会

社の株式会社エクセル・システムプロダクトをグループに迎えた。事業領域は設計開発まで広がる。グループでは従業員数が140人規模となり、売上高は「10億円くらい増える」(林社長)。

林社長は持続的な視点でビジネスをみており、「下請け構造の是正など業界再編にも関与していきたい。DX推進コンサルのノウハウを業界に浸透させるため、当社の出身者から経営者を輩出できればと考えている」と、IT業界の高度化に乗り出す構えだ。近い将来、IT企業でITI出身の社長がブランド化されているかもしれない。

「わが社」を語る

代表取締役社長
林 衛氏



広い視野とプロ視点で、業界再編成を一緒に考えましょう！

入社した社員は、ITの考えがガラッと変わって仕事が好きになり、長く働いてくれています。ジェンダー、地域、学歴などは様々で、女性比率は40%と高い方です。自由な社風でやりたいことができるうえ、評価制度も公平です。雇用条件は柔軟で、パートナ企業からの出向社員も受け入れています。コロナ禍でテレワークは9割定着しました。

当社は現在、中途採用をメインに、新しい技術にチャレンジしたい人、一緒に新しい時代を創っていく仲間を募集しています。新たな領域、業界再編にもかかわり、ともに歩んでいきましょう！

会社 DATA

所在地：東京都港区港南4-1-8 リバーージュ品川5階

設立：1998（平成10）年7月1日

代表者：林 衛

資本金：1億円

売上高：10億2,600万円（2021年6月期）
18億9,300万円（グループ）

従業員数：51名（2021年6月30日現在）133名（グループ）

事業内容：DX戦略、DX実現にかかわるあらゆる業務の支援、人材育成を行うコンサルティング事業（IT構想・企画策定支援、ITアーキテクトチャレンジ/変革支援、AI・ビッグデータ開発支援、プロジェクトマネジメント/PMO支援、研修・人材育成支援）

URL：<https://www.it-innovation.co.jp/>

<https://www.it-innovation.co.in/>（IT innovation India Pvt.Ltd.）

<http://www.excel-system.co.jp/>（エクセル・システムプロダクト）

